

# 大型設備投資が完了

## 第一貨物、東京支店が完成

第一貨物（山形市、米田 総一郎社長）は2日、移転新築を進めていた東京支店が竣工したと発表した。昨年秋に移働した新・山形支店（同市黄金）を含め、総額280億円規模の大型



設備投資プロジェクトが完了した。

江東区にある現東京支店は建築から52年が経過し、老朽化対策などが課題となっていた。同じ江東区内に大和ハウス工業が開発したマルチテナント型物流施設「DPL江東深川」を区分所有し、移転先とした。一部鉄骨造り7階建ての建物2階部分に入る。延べ床面積約13万平方メートル。現東京支店の土地と建物は大和ハウス工業に売却する予定。

第一貨物の同プロジェクトは2017年にスタートし、首都圏における整備工場の移転新築をはじめ、社宅の整備事業も実施した。

移転先となる第一貨物の東京支店―東京・江東区  
(同社提供)

(稲村裕介)